

でばり通信10号発刊によせて



日頃、「でばり通信」をご愛読いただきましてありがとうございます。早いもので、2004年1月に創刊された「でばり通信」も今号で10号となりました。現在に至る2年半の間に、佐藤病院も大きく成長いたしました。

医学的なことはもとより、施設設備などハード面では診察室のプライバシーを守る改築やLDRの増設、外来託児室の移転などがあり、どれも今では順調に稼働しております。サービスなどソフト面では、産声をあげたてだった母乳外来も軌道に乗り多くの患者様の手助けができています。また各種教室もより充実させるべく、今尚スタッフが丸一となって取り組んでおります。

そして、地域社会への貢献という面で、この情報誌もそのひとつですが、「ティータイム講演会」「胎教コンサート」「クリスマスコンサート」など患者様だけでなく広く地域の皆様にもご参加いただけるような各イベントを企画開催し、ご好評いただいております。秋には、私、院長の「婦人科講演」も企画されているようです。是非おこし下さい。

院長 佐藤 仁



今後の取り組みといたしましては、副院長の記事にありますように、広く女性を対象に「アンチエイジングドック」の発足も具体化してきました。また、赤ちゃんが欲しい方のニーズに対応して高崎市あら町に不妊専門クリニックの建設もはじまり、11月の完成を予定しております。

今、わが国では医師の産婦人科離れ、助産師の不足、分娩施設の減少等々、産婦人科における問題が数多くクローズアップされておりますが、当院の役割を再認識し、皆様により満足いただける佐藤病院を目指し、日々の診療にあたる所存です。



おめでとうございます！平成18年 500人目の赤ちゃん 4月19日生まれ 見竹 怜(みたけ れん)君

お母様の重紀子さまは、妊娠期がびっくりするほど順調だったと語ります。

「3年前に出産した長男の時は、何度も流産を繰り返していたので、妊娠がわかったときから大事をとって入院していました。次男のこの子を妊娠したときも、まず最初は、入院しないで大丈夫なのかなと心配しましたが、私も家族もびっくりするほど妊娠期間中何の心配もなく順調に過ごすことができました。長男もいるので、もちろん入院となると大変難しいので、この子はそのをわかってくれたのかなという気がします。」

怜くんが生まれて、ご長男の響(ひびき)くんにかか変化はありましたか？



「周開からは赤ちゃん返りするとか、赤ちゃんに手をだしてしまうとか聞いていました。覚悟して、囲いのあるベビーベッドも用意していたのですが、心配は無用でした。泣いているとあやしてくれ、とてもかわいがってくれています。1ヶ月たつてもうベビーベッドも片付けてしまいました。」

どんなお子さんになってほしいですか？

「男の子なので、とにかく健康で元気であればいいと願っています。男2人なので、きっとどんどんにぎやかな家庭になるでしょうね。」

5月19日の1ヶ月健診で4800gにまで成長していた怜くんは、お母さんをじっと見て、声を出して、おっぱいを要求していました。

この日、見竹さまには院長より、500人目記念のアルバムが贈られました。響くんと怜くんの健やかなご成長をお祈りいたします。ご協力ありがとうございました。



☆発刊10号記念写真展開催のお知らせ☆

このたびこの記念すべき10号の特別企画として、「私は佐藤病院で生まれました！写真展」を8月に開催いたします。佐藤病院の歴史は江戸時代から。現在の院長で11代目の産科婦人科病院ですから、当院で生まれた方の数は計り知れません。おじいちゃんおばあちゃんでも、昨日生まれた赤ちゃんでも結構です、佐藤病院で生まれた方の写真をお寄せいただき、1Fショップ「ゆうゆ」にて展示したいと思います。

【募集要項】

写真：佐藤病院で生まれた方の写真（赤ちゃんのときの写真でも、現在の写真でもOK）

プリント写真（返却希望は住所氏名をお知らせください）

またはデジタルデータ（E-mailに添付でも可）

ニックネーム、生年月日、ひとことコメントをつけてください

展示期間：8月7日～1ヶ月間（予定）

締め切り：7月末日（必着）

送り先：高崎市若松町96 産科婦人科館出張 佐藤病院 総務部 福田あて

E-mail:renkei@sato-hospital.gr.jp 皆様からのたくさんのご応募お待ちしております！

只今、写真募集中!!

【医師紹介】

会田 拓也 医師



週2回、不妊専門外来を中心に、勤務しています。34歳で副院長の後輩にあたります。性格は、自他ともに認める「義理人情に厚い」男です。B型で座は、結婚に向いていないとよくいわれましたが、結構まじめなのでうまく行っています。(笑) 専門は不妊症と腹腔鏡下手術で、今は週2回東京の不妊専門病院で勉強もしています。趣味はスポーツフィッシングと週3回サイクリングマシンで1時間位走る事。それから順天堂大学時代は、アイスホッケーの右ウィングとして活躍していました。現在佐藤病院で建築をはじめます不妊専門クリニック（名称未定、高崎市あら町、12月開院予定）の常勤医として、診療にあたる予定です。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

佐藤 泰一 医師

週5回、外来も病棟も担当しています。趣味は読書で、SFかファンタジー作品が好きで、作家にこだわらず乱読しています。前職は、群馬県の東部県民局 保健福祉部長（太田保健福祉事務所長）で、地域住民の健康を守るお手伝いをしていました。今年10月末に高崎市旭町の再開発ビル1Fに「コスモレディースクリニック」という産婦人科クリニックを開院するにあたり、現在佐藤病院でさらに腕を磨かせていただいております。女性のための家庭医を目指して、相談相手になったり、育児支援のお手伝いなどできたらと考えています。佐藤病院とはセミオープンシステムとの連携医として、皆さんのお役に立ちたいと思っています。クリニックも同様に、どうぞよろしくお願いいたします。



ゆうゆ 小林 さくら

私は映画を観たり、様々なジャンルの音楽を聴いて感動することが大好きです。患者様のいこいの場となるようなお店作りをお手伝いしたいと思います。よろしくお願いいたします。



助産師 鈴木 禎子

院内研修を経て夜勤も始まり、少しずつ慣れてきたところ。毎日母子とその二人を囲むご家族の笑顔を見ていて、あらためてこの仕事に携わっていることの幸せを感じます。まだまだ未熟な私ですが、自分出来ることは100%の気持ちで取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



医事部 柴山 美保

結婚して5ヶ月です！子供が大好きなので、早く自分の赤ちゃんが欲しいなと思っています。いつでも笑顔を忘れずにがんばります。皆様よろしくお祈りいたします。



内田 美穂 医師



東京生まれ東京育ちのA型です。性格は、年とともに丸みをおびてきたように感じます。まだ高崎に引っ越してきて間もないので、高崎がどんなところかわかりません。趣味は「お酒」というくらいどんなお酒も大好きです。毎日欠かさず飲んでます。引越した初日には、まず酒屋さんでワインを買いました(笑)。飲むのはワインが一番好きですが、日本酒にも詳しいです。お酒だけが趣味と誤解されてはいけませんので、東京では、硬式テニスも毎週やっています。高崎でもできるといいなと思っています。佐藤病院では、できるだけたくさんのお産のお手伝いをしたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。



【平成18年度1月～5月期 佐藤病院実績報告】

・外来数	19,769人	(開院日121日あたり 163.3人)
・入院患者数	1,146人	(平均在院日数 7.2日)
・分娩総数	708人	(前年同期 700人)
	うちセミオープンシステム利用による分娩	40人 5.6%
手術)		
・帝王切開	92件	(帝王切開率 13.0%) うち緊急 33件
・婦人科手術	183件	うち内視鏡手術 49件
不妊治療による妊娠率)		
・人工授精	5.1%	(前年 7.6%)
・体外受精	26.8%	(前年 32.4%) うち36才以下 36% (前年 42.6%)
・凍結胚移植あたり	36.3%	(前年 11.4%)

セミオープンニュース 連携医紹介⑧

多野郡吉井町「吉井中央診療所 院長 江原洋一先生」

第8弾となりました連携医紹介。今回は、吉井町の江原先生にご寄稿いただきました。

私は佐藤病院とは先代の寿雄先生の時代から特別御懇篤なお付き合いを家族ぐるみで賜っており大変お世話になっております。何時も感謝しておりますが、この機会に先ず厚くお礼申し上げます。とくに吉井町に開業してからは現院長の仁先生には何回と無く窮地を助けられてきました。印象に残っている事の第一は当院での最初の子宮筋腫の手術に際し未だ機械も十分でない事を見越して、当時の婦長さんを同伴し更には機械道具一式を消毒までして持参して手伝って頂いた事が昨日の事に思い出されます。曲がりなりにも吉井町の片田舎で産科をやったことそれだけでも佐藤病院の強力なサポートのお蔭といっても言い過ぎでは有りません。

最近産科専門医が減少し地域医療が壊滅的打撃を受けている現状が報道されておりますが、そんな中で一人気を吐いているのが佐藤病院ではないでしょうか？

吉井中央診療所
 多野郡吉井町吉井415
 tel: 027-387-5889



佐藤病院理念

私たちは出産を中心に、女性の生涯にわたる専門病院として、優秀なスタッフによる最新医学を取り入れた診療内容を地域社会に提供する使命を自覚し、温かみのある看護とサービスにより、患者様一人ひとりに愛される病院を目指します。

基本方針

1. 地域に密着した女性専門病院として、女性の生涯に貢献する
2. 常に学び続け、医療技術の向上を図る
3. 医療のプロとして誇りを持って行動し患者様の信頼に応える
4. 互いの信頼関係を大切にし、信頼の輪を広げる
5. 経営環境を自覚し、適応する効率と改善に努力する

患者さまの権利章典

当院は患者さまの医療に対する主体的な参加を支援するために、以下の「患者さまの権利章典」を尊重し診療を行います

1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を得る権利があります
2. 患者さまには、医療従事者が提供する治療法に関して、自らの意思で決定する権利（選択する権利と拒否する権利）があります
3. 患者さまには、診療録等の開示を求めるとともに、また、診療過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります
4. 患者さまには、医療従事者に対して、患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に伝えていただく責務があります
5. 患者さまには、すべて患者様が適切な医療を受けられるために、他の患者様の治療に支障を与えないように配慮していただく責務があります